

H21年度後期 : 授業時間: 火曜日1限

[九州大学]

大学院共通科目: G4013「九大生よ、リーダーになろう」

と全学教育科目「人間力、国際力、自立精神をつけよう」の連携講義

[横浜市立大学]

特別講座 Let's Be a Leader

\* 九大リフォルニア・オフィスと

－九大(箱崎／伊都／大橋／筑紫)

－横浜市立大学

間の遠隔授業: 2009.9.29～2010.1.26

# 履修説明

*Ver.8(2009.10.20)[レポート再説明]*

*Ver.5(2009.9.29)*

岡本秀穂

九州大学・高等教育開発推進センター

E-mail: [okamoto@rche.kyushu-u.ac.jp](mailto:okamoto@rche.kyushu-u.ac.jp)

1. 授業日： 火曜8:40～10:10(九大1限)
2. 単位：  
2単位(九大)
3. 授業形態：カリフォルニアオフィス⇔九大 & 横浜市大間の遠隔授業が原則  
主として九大カリフォルニアオフィスから講義し、九大4キャンパスと横浜市大のどこかで受講する。ただし九大東京オフィスからも講義予定(11/24)。
4. 履修届：
  - 1) 九大生(学部生)：  
他の専攻科目と同様に、Web上で履修登録を行う。その期間は  
**10/5～10/9**  
の間である(履修登録の確認&訂正は、①10/21～27と、②11/2～6  
のいずれかの期間)。
  - 2) 九大(大学院生)：  
大学院共通教育科目のホームページの「履修申し込み」から登録。  
<http://rche.kyushu-u.ac.jp/%7Ein-kyotsu/index.html>  
なお、第1回(コマ)目の講義に出席に間に合わなかった場合、第2回  
(コマ)目からの出席でも可能。
  - 3) 横浜市立大学生  
ブルーの履修用紙に記入してTony Chin先生へ提出。

## 5. レポート提出と成績評価

### A.(九大):

1) 期限: 講義終了後、**翌週火曜日17:00が締切時間(これ以外は受理しない)**。

2) 内容:

#### ①形式:

(1) 授業評価: **<九大生用>**

毎回、授業評価点とその簡単な理由をレポート・フォームの最初に記入。この講師評価内容は次のとおりである。

この講師を何点と評価しますか。評価のポイントはあなたがこの授業に期待したことに応えてくれているかどうかということを基準にしてください。

5. 非常によかった

4. かなりよかった

3. 特によいとも悪いともいえない、普通

2. あまり関心がもてなかった

1. まったく意味がなかった

**★なぜ上記のような採点をしたかを説明 (必ず記入のこと)。**

## 5. レポート提出と成績評価(続き) <7以下の追加項目を参照>

2) - (2) 講義レポート: 課題レポートか、講義の感想、講師へのコメント・質問など。

ただし“面白かった”という単なる感想文や、“今後、頑張ろうと思う”のような決意文だけでは不十分である。毎回のレポートを、

- ・講義概要(まとめ)のみ: 6点/10点
  - ・講義内容に関する自分の意見の開陳: 7-9点/10点
  - ・講義内容に触発された秀逸な自身の意見提案: 9-10点/10点
- の基準で評価し、最終的に総合点で評価する。

3) 提出先: <学部学生と大学院生: 共通>

九州大学のホームページで

[教育]→[大学院: 共通教育]→[九大生よ、リーダーになろう]→  
[レポート提出フォーム]

に記入後、送信すること(送信エラーや文字化けを避けるために、別紙にテキスト文で作成後、それをcopy & pasteすること)。

<http://mail.rche.kyushu-u.ac.jp/%7Ein-kyotsu/>

4) 字数制限: 800字以内

5) レポートは九大側で採点后、各講師にレポートを送付。

6) 質疑など発言が多かった学生には、松尾所長が任意で加点することがある。

**B(横浜市大):**

形式は九大と同じ。 Winhawkman+kyu@gmail.comにメールで提出

# [九大生へ強調・確認事項]

九州大学のホームページ

<http://rche.kyushu-u.ac.jp/%7Ein-kyotsu/>

で、

## [教育]

→[大学院：共通教育]

→[21年度（後期）開講科目一覧]

→[G4013九大生よ、リーダーになろう]

→[レポート提出フォーム]

**★授業評価と講義レポート**

に記入後、送信すること。

## 6. 備考

### (1) 受講生からの質問・要望:

1) 講演後の質問は大歓迎(10分程度)

2) 九州大学のホームページで

[教育]→[大学院:共通教育]→[ご意見・ご要望]  
から送信。

### (2) 教員からの<要請>

#### 遠隔授業に関する不都合が生じた場合の迅速な応答

授業中、発信元の音声が取れなかったり、画像が受信できない場合には、各キャンパスのTA、もしくは日々雇用職員に連絡して、即座に、発信元に改善を要望してください。授業後に指摘されても発信元では、詳しい状況がわかりません。

## 7. レポートの書き方に関する追加説明:

### 項目5-2)-(2) <再録>

講義の感想、講師へのコメント・質問など。

ただし“面白かった”という単なる感想文や、“今後、頑張ろうと思う”のような決意文だけでは不十分である。毎回のレポートを、

- ・講義概要(まとめ)のみ: 6点/10点

- ・講義内容に関する自分の意見の開陳: 7-9点/10点

- ・講義内容に触発された秀逸な自身の意見提案: 9-10点/10点

の基準で評価し、最終的に総合点で評価する。

私の要望は、講義内容ではなく、講義を聞いたあなた自身のお考えです。

#### 評価の原則:

①講義内容の反芻(要約)だけのレポートは、合格(6点/10点)ラインの最低点で、高評価はしない。

②自分自身で考え抜いた意見の開陳を、より高く評価する。

\* 具体的には以下の例で示す。

## <追加>7-①. “好ましいレポート(昨年の例)”

(先生が言われた)「創造的思考開発方法」では、5段階のプロセス、すなわち、第一段階の「事実の発見」、第二段階の「問題の発見」に続いて、ブレインストーミングのルールが適用される第三段階の「解決策の発見」へと移りますが、第一段階、第二段階を経て出てくるべきアイデアはすでにコンセプチュアルなものであるべきで、第三段階のブレインストーミングでは、直観的なアイデアなどは出てくるべきではないのではないか(岡本註:出てくるはずはない)と思います。

### <岡本コメント>

- ①この疑問内容の正当性(正しいか間違っているか)は、まずは問わない。
- ②自分勝手な(独自の)論理構成の展開ではなく、相手の論理の土俵の上で(=相手を認めて)自分なりに考えて、疑問点を見出し、その論理構築に異論を呈している。
- ③さらに好ましくは、この批判の上に立って、自分なりの論理展開や代替案の提示をしていただきたい。

## <追加>7-②. “典型的な(多数の)レポート”

真に求めているレポートは、講義のまとめや単なる感想文ではない。

### ★ 講義内容のまとめ

講師に向かってなぜ講義の要約をする必要があるのか？

(例1)リーダーシップとは(⇒講義スライドや配布プリントと同一内容)

(例2)リーダーの重要性(⇒一般的で常識的な内容)

(例3)経営戦略

\* 以下の条件を満たすリーダーになることが重要である。

(⇒配布プリントと同一内容)

### ★ 講義内容に関する自分の意見

\* 今日のお話は大変説得力があり、非常に勉強になりました。

\* 非常におもしろい／すばらしい講義でした。

\* 今後は、これらのスキルが身につくよう意識しながら行動していきたい。

\* 常に向上心を持ち、自分や他人を敬える心を養い、人の模範となれるような規範心を育てて新時代を担うリーダーになりたい。

(⇒単なる感想や決意表明以上の「考えた論理」を要望)

## <追加> 7-③. 典型的なレポート構文例

(⇒間違いではないが、評価しようがない; 今期例):

今回の講義の話のおおまかな流れは、①……、②……、③……、④……と大きく4つに分かれていた。①では、……というお話だった。②では、……を指摘されていた。③では、……ためのポイントについてのお話をされ、④は、……についてのお話をされていた。<別レポート: ……を話して頂きました>

<①講義内容の反芻: 講義要約は不要。誰へのレポートなのか?>

この話の中で私は特に、④……についての話が非常に興味深かった。

<②感想文: 人それぞれ、感想もそれぞれ。どの感想が良いのかは評価不能>

リーダーに必要なものの話の中で「考える習慣」というものがあったが、私はそれを実行するツールの一つとして「ブログ」が適しているのではないかと思った。

……そのため、私は今日からアウトプットの訓練としてブログを始めてみようと思う。(中略) 今日から継続して頑張ろうと思う。

<③決意文: 人それぞれの決意を、“客観的に評価する”ことはできない。>